

胃がん検診(内視鏡)

- 令和7年度より、胃内視鏡(胃カメラ)によるがん検診を実施いたします。胃がんは50歳代以降に多く、日本人の死亡原因の上位に位置しています。ぜひ、この機会に受診してください。詳細については、申込のあった方に個別にお知らせいたします。

対象年齢 (R8.4.1時点の年齢)	51歳(S49.4.2～S50.4.1生) 55歳(S45.4.2～S46.4.1生) 59歳(S41.4.2～S42.4.1生)	53歳(S47.4.2～S48.4.1生) 57歳(S43.4.2～S44.4.1生)
対象外となる方	- 胃や食道の治療中(服薬中または定期的に胃内視鏡検査を実施している)の方 - 過去の胃がん検診で異常があり精密検査を受診していない方	
検診実施時期	7月～12月	
受診会場	県内の指定医療機関(鹿角市内は3医療機関程度)	
自己負担金	無料	
申込方法	①専用申込フォーム 右側のQRコードからアクセスし、必要事項を入力してください。 ②電話申込 4月11日(金)から ☎0186-30-0119 平日8:30～17:15まで(水曜日は19:00まで)	
申込締切	5月30日(金)	



がん検診にはメリット・デメリットがあります

メリット・デメリットを正しく理解し、健康と安心のためにがん検診を受けましょう。

最大のメリットはここ！

●早期発見・治療による救命

早期であれば治せる可能性は非常に高く、身体的・経済的負担は一般的に少なく済みます。一方、症状がある場合はがんが進行している可能性があります。**症状がない時に検診を受けることが大切です。**

●安心した生活を続けられる

「異常なし」となれば、ひとまず安心して過ごすことができます。日本人の2人に1人ががんになる時代。自身を「過信」せず、**定期的に検診を受けることが必要です。**

●検診結果が100%正しいわけではない

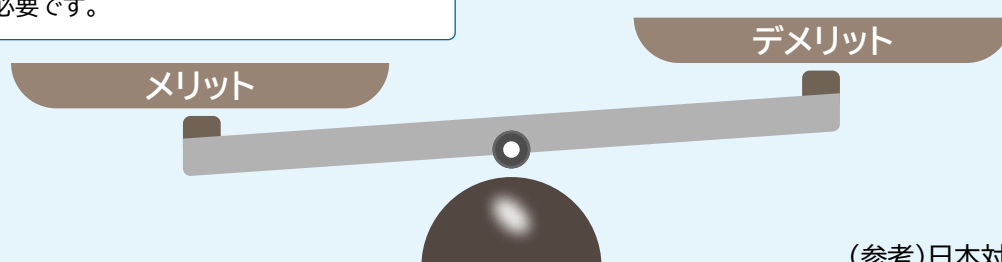
「異常なし＝がんではない」ではありません。がんの場所や種類によっては発見できないことがあります。

●結果的に不必要な検査・治療となることも

「がん疑い」と診断され、精密検査を受けた結果、「がんではない」と判定された場合、結果的にみれば不必要な検査・治療が行われたことになります。

●検査によって身体に負担がかかることも

例えば、バリウムで便秘になることや放射線には被ばくの問題があります。



(参考)日本対がん協会HP